

機械/船舶・海洋/航空・宇宙部会、電気電子/経営工学/情報工 学部会、化学/繊維/金属部会共催 三浦工業株式会社(松山市)見学会報告



山口県 繊維部門
寺阪 冬樹
化学/繊維/金属部会 副部会長

1. はじめに

2025年11月28日、三浦工業(株)の見学会を開催した。中国地区から瀬戸大橋、しまなみ海道、高速船に加え、松山空港からのアクセスも良い松山市とした初の四国開催にあたり、四国本部にも参加を呼びかけたところ、中国本部以外に四国本部から6名、東京から1名を含む計16名が参加した。



三浦工業(株) 松山本社玄関前集合写真

2. 三浦工業株式会社の概要

三浦工業は「熱・水・環境のベストパートナー」を掲げ、CO₂排出量削減に貢献する省エネルギー診断や、ボイラ・水処理機器など幅広い設備とソリューションを提供し、さらに国内最大規模の水分析体制など、製造からメンテナンスまで一貫したビジネスモデルを構築している。

3. 見学内容(概要)

見学会は、北条工場と松山本社の2拠点を巡る行程で実施された。

① 北条工場 :

- ボイラ製造ライン：独自の「ミウラ流」生産方式である全長約70mの半自動コンベアラインを見学した。じっくりと観察しないとわからないほど非常にゆっくりとした速度で動くコンベア上に、作業員自身がボイラと共に乗り、手元の棚から必要な部品をその都度取り出しながら組み立て、

一台ずつ異なる顧客仕様へのカスタマイズを確実かつ効率的に完結させている。

- マイコンボード生産工場：通常は非公開となっている、製品の「頭脳」を担う基板の製造現場を特別に見学した。自社設計された基板に対し、数ミリ単位の微細な半導体を高速・高精度に装着する工程を間近で目にることができ、徹底した内製化へのこだわりを感じた。
- 水分析センター：国内最大級の拠点。蓄積された膨大な水質データは同社の極めて重要な「財産」となっており、分析結果の迅速なフィードバックを通じて設備の故障予防につなげるなど、顧客との強い信頼関係を支える基盤であると理解できた。

② 松山本社：ショールーム「ミウラ愛ランド」

- 同社の歩みと徹底した効率化の歴史、さらに現場を支える作業員の熟練技術を維持するための訓練状況や教育体制についても紹介があり、ハード・ソフト両面から品質を担保する姿勢を理解できた。併せて、オンラインで全国の稼働状況を24時間リアルタイム監視し、異常の兆候を検知すれば即座に全国の拠点へ指令を出す先進的な保守管理体制は興味深かった。

4. おわりに

アンケートでは、「膨大な水分析データの防災分野への応用の可能性」や「マイコン製造の内製化」に大きな関心が寄せられた。また、省エネ・カーボンニュートラルへの取り組みも非常に参考になったと好評であった。最後に、本見学会の開催にあたり多大なるご協力をいただいた三浦工業の皆様に厚く御礼申し上げる。